

《日本植物学会第 90 回野田大会を東京理科大学で開催》

最先端研究を市民にも公開

～ゲノム編集トマトを試食していただけます

公益社団法人日本植物学会は、第 90 回大会を、野田市で開催することとなった。野田市と包括連携協定を締結している東京理科大学では、朽津和幸教授（創域理工学部生命生物科学科）が大会会長を務める。学会は専門知識を持つ研究者や実務家が集まり、高度な議論を行う性質上、一般には「閉じられた空間」であるが、今回開催の植物学会では、国の科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）を活用して、一般市民にも植物学の最先端研究に触れていただき、植物の生き方と人との共生について考えていただける場にしようと、最終日に一般講演会と自然観察会、隣接会場での公開展示を企画した。

一般公開する講演会では、大会会長の朽津教授、日本植物学会会長の長谷部光泰教授、講談社科学出版賞を今年受賞した小豆研究者の内藤健さん（農研機構遺伝資源研究センター上級研究員）をはじめとする第一線の植物科学の研究者が講演する。さらに、ゲノム編集食品の最前線の研究者や企業も講演し、参加者には、ゲノム編集トマトを試食していただく機会も設け、最先端の研究を体験していただく内容となっている。

●一般講演会(参加は無料・直接会場へ(オンライン参加も可))

9 月 6 日（日）13 時 30 分～16 時・野田キャンパス講義棟 1 階 K103 教室

16 人が講演（研究者や企業など）※ゲノム編集トマトの試食あり

●自然観察会(参加は無料・直接会場へ)

9 月 6 日（日）16 時～17 時 30 分・理窓会自然記念公園

理窓会記念自然公園や通常は非公開の薬用植物園を散策しながら、講師や参加研究者と一緒に植物について語り合うことで、研究者と一般市民が交流するイベント。

●公開展示(参加は無料・直接会場へ)

9 月 4 日（金）～6 日（日）（最終日は 14 時 45 分まで）・講演会場に隣接設置

バイオテクノロジーで作った花（青いカーネーションや青い胡蝶蘭、変化朝顔など）や野菜、特徴的なタネ・果実の拡大模型、東京理科大学近代科学資料館の所蔵資料、日本生態系協会賞を受賞した理窓会自然記念公園における生物多様性を守る活動などを展示する。

●懇親会(研究者のみ・参加費 10,000 円)

9 月 5 日（土）18 時 30 分～20 時 30 分・レストラン「カナル」（野田キャンパス内）

400 人を超える研究者が参加し、醤油絞り実演や絞った醤油の試食、バイオテクノロジー技術によるゲノム編集トマト（2 種類）を使った料理が振る舞われる。

問合せ＝日本植物学会第 90 回大会 事務局・bsj90@rs.tus.ac.jp

東京理科大学 朽津和幸 教授・kuchitsu@rs.tus.ac.jp

みどりと水のまちづくり課・直通 04-7199-8147 代表 04-7125-1111（内線 2692）

野 田 市